



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
2015

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 田中 健志
幹 事 金本 善行

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ Building Communities Bridging Continents

「地域を育み、大陸をつなぐ」

本年度会長テーマ

「ロータリーを楽しもう」

「世界理解月間」

2011年2月3日 第1991回例会

◆ 会長時間 ◆

田中会長



2月は「世界理解月間」と指定されています。また、2月23日から始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することが決議されました。

「ロータリーの綱領」の第4項に「奉仕の理想に結ばれた事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」と記載されています。

この月間中、RIは各ロータリークラブに対して、世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するプログラムを行うよう要請しています。国際問題の討論の計画、国際的な文化芸術を主題にした催しものの提供、国際色を強調したその他のプログラムの計画作成等です。たまたま今月28日には台南ロータリークラブとの姉妹縁組再締結調印式があり、当クラブにおいても「世界理解月間」という時宜を得た友情交換イベントとなります。

次に本日の卓話講師は広島大学特命准教授 中野博子氏です。中野さんは当クラブの推薦で1991年から1993年までロータリー財団奨学生として、アメリカミシガン州アンナーバーにあるミシガン大学に留学されMBAを取得されました。中野さ

んは帰国後、1993年6月3日の例会で帰国報告の卓話をされています。昨日第1155回例会の会報を読み直してみましたが、大変国際色豊かなスピーチであり、2年間の留学によって多くの成果を得られたことが感じられる報告でした。その後現在まで8年間の実務を経験されています。本日のお話を楽しみにしています。

☒ 広島西ロータリークラブ

田中会長殿および会員の皆様へ

初春の候、貴クラブますます御隆昌にてお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、ありがとうございます。

2月3日は台湾の旧暦のお正月で台南RC全員より貴クラブの皆様とご家族へ新年おめでとうございます！

今年も幸せ多い日々でありますよう！

お祈りいたします。

謹祝、新年快樂！恭禧發財！！萬事如意！！

台南ロータリークラブ

2010-11年度 会長

陳 高山 (Camp)

☒ 物故会員に黙祷

1995-96年度 山田 宏パストガバナーが2月1日ご逝去されました（享年72歳）。

● 会務報告

金本幹事

※2010年1月から12月の期間、米山奨学会に寄付をされた会員宛てに確定申告用領収書が届いております。税務署への申告の際は領収書と同封の特定公益増進法人の証明書(写)もセットでご提出ください。

※熊平製作所よりご恵贈の「拔萃のつづり」をBOXに入れておりますのでお持ち帰り下さい。

※例会臨時変更

2月21日(月) 広島中央RC「AED贈呈式及び講習会」

※例会終了後、4階「松の間」において2月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

● 委員会報告

出席報告 荒谷委員

本 日 (2月3日・木曜日)

会員数 83名 出席者 72名

欠席者 11名 ご来客 8名

ご来賓 1名 ゲスト 0名

計 81名

前々回(1月20日・木曜日)

出席率 97.56%

● スマイルボックス

SAA 堀江副委員長

😊 中村秀幸君 (自主申告) 大枚

体調不良のため永らく例会欠席を余儀なくされましたが、約1年半ぶりに会員の皆さんにお目にかかることが出来て大変嬉しく思っております。この間、梶川博会員には格別のお世話になり、誠に有難うございました。

😊 渋谷勝治君 (自主申告) 大枚

先月29日の家内の葬儀・告別式には会員の皆様にも多数ご参列をいただき、盛大で荘厳に営むことができて誠に有難く、厚くお礼を申し上げます。

😊 浜井順三君 (自主申告) ダブル

わが広島西ロータリークラブのオリジナルネクタイを有効活用し、合わせてスマイルボックスに貢献しようと会員に提供を呼びかけておりますが、本日、刀禰明君から赤とシルバーの2本のご提供があり、うち赤バージョンを浜井君が貰い受け、ダブルでご出宝いただきました。

● スマンボックス

金本善行幹事

本日の例会進行の順序を間違え、お客様の紹介の前に今月誕生日の会員を紹介してしまいました。誠に恐縮でした。

● 第8回理事会議事録

と き 2011年2月3日(木) 13時30分～15時00分
ところ ANAクラウンプラザホテル広島4F「松の間」

報告事項

- ① 合同幹事会報告(1月25日)
(金本幹事)資料に基づき報告。
- ② 合同事務局運営委員会報告(1月18日)
(金本幹事)資料に基づき報告。
- ③ 1月収入支出状況について
(米山会計委員長)資料に基づき報告。
- ④ ロータリー情報委員会強調プログラム報告
(梶川理事)当初の割り当て時間30分を確保して欲しかった。実質20分程度であった。

審議事項

- ① 前回議事録の承認 (全員一致で承認)
- ② 台南RC姉妹クラブ再締結調印式について
(メイクアップ扱いを含む)
(調印式出席者を例会のメイクアップ扱いとすることを含め、全員一致で承認。なお、式次第、配席表等詳細は委員会で詰める。)
- ③ 3月3日創立41周年記念夜間例会について
(全員一致で承認。催しについては20周年、30周年当時のビデオ放映とする。)
- ④ 3月卓話スケジュールについて
(全員一致で承認)
- ⑤ 第2000回例会(4月14日)を夜間例会に変更することについて (全員一致で承認)
- ⑥ 第2000回記念夜間例会について
(全員一致で承認。余興費用については、井原会長エレクトと金本幹事で詰める。)
- ⑦ クラブ細則の改正について
(全員一致で承認。なお、2月17日の例会にて改正案を会員に配布し、3月10日の例会にて諮ることとする。)
- ⑧ 新会員について (全員一致で承認)
- ⑨ 拉致被害者家族連絡会に対する支援金協力について
(例会中に募金箱を回し協力をお願いする)

協議事項 なし

次回開催日 平成23年3月10日(木) 例会終了後

広島大学の産学官 連携活動について



広島大学特命准教授
中野 博子氏

広島大学、産学・地域連携
センター、産学官連携コー
ディネーターの中野博子と申し

ます。私は1991年に、この広島西ロータリークラブのご推薦を頂き、ロータリー財団国際親善奨学生として、米国ミシガン大学経営大学院に留学し、1993年にMBAを取得して帰国した際、ご報告を兼ねて御礼のご挨拶に伺ったことがあります。実はとてもご縁のあるクラブの例会でこのたびまたお話させて頂くこととなり嬉しく存じます。

帰国後は外資系自動車メーカーで16年間勤務し、新車導入のため、米国ミズーリ州カンザスシティの工場に転勤し、51日間に及ぶ全米サプライヤードライブを企画・指揮したことなど得難い思い出です。後半はマーケティング・マネージャーとして、タイ生産のピックアップトラックを世界百数十カ国に展開し、留学経験を活かし、国際的な遣り甲斐のある仕事をする事ができたと思っております。

昨年、広島大学の国際産学官連携部門に転職することになりました。研究、教育と並んで、産学官連携をはじめとする社会貢献は今や大学の主要な役割となっております。産学・地域連携センターの主たる使命は、大学の先端的技術シーズと知的財産の産業界への展開、産学官連携に基づく共同研究の推進、外部資金獲得、MOT教育を含む人材育成と新産業創出などの活動を通じて、地域との連携・発展に寄与することです。

平成20年度に本センターは文部科学省「産学官連携戦略展開事業」の「国際的な産学官連携活動」事業に採択され、中四国地域唯一の採択大学として、国際的産学官連携活動を米国・欧州をはじめアジア諸国と積極的に推進しております。すでに韓国、タイ、インドネシア、アメリカの民間企業との共同研究を獲得しており、中国、インドとの交流も進んでいるところです。昨年6月には、ニューヨークでライフサイエンスに関する研究シーズ説明会“New York Showcase”を開催しまし

た。また国際産学官連携戦略シンポジウムを開催しており、今年一月には「大学から産業界への更なる技術移転」と題して、欧米からの講演者を迎えてより国際的なフォーラムを開くことができました。

一方、産学官連携活動に関する文科省の調査によると、共同研究の件数、獲得金額とも広島大学の実績は、国立大学法人の第10位に位置づけられていますが、中小企業対象では21位にとどまっています。国際産学官連携のみならず、地域の中小企業との相談・共同研究を増やしていくことも大切な課題として取り組んで参ります。顕在化していないが世界に誇れる技術力が、ものづくりの町、広島にはあると思っています。

私は世界で活躍できる国際的な人材を広島から育てる一助になりたいという夢を持っています。産学官連携をさらに強化することにより、技術の粋を集めて、人々が本当に必要としている革新的な「もの」を提供することができ、広島発の世界的研究者や世界的ベンチャー、また国際競争力のある地元企業が生まれることを願っています。企業そして地域社会・経済を活性化することにより、大学の社会還元、地域・国際貢献をさらに推進していくことのできる、無限の可能性を秘めた取り組みであり、留学やキャリアの経験を今後はこの分野で活かして行きたいと思っております。ロータリー会員の皆様とも連携の機会があれば願っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

プロフィール：中野 博子

広島大学 産学・地域連携センター 産学官連携
コーディネーター、特命准教授

津田塾大学学芸学部英文学科卒業後、マツダ㈱入社、商品企画開発推進本部にてフォードビジネス担当。1991年、ロータリー財団奨学生として、米国ミシガン大学経営大学院留学。1993年、同大学院卒業、MBA取得後、帰国し、フォード自動車入社。商品企画、マーケティング・マネージャー等を歴任後、2009年末退職。2010年より、現職。

● 卓話予告

日時	テ ー マ
2/17(木)	「中国地方の経済情勢等について」 財務省中国財務局長 吉村 宗一氏